

街かど

投稿

街かどは、みなさんのページです。作品（絵画、写真、イラスト、短歌、俳句、川柳、詩など）やご意見（テーマ、内容は自由）を募集しています。

また「われら仲間」や「私とスポーツ」にもぜひご登場ください。匿名希望者は匿名としますが、編集部には氏名をお知らせください。投稿 連絡先 黒埼町大野二八四三 黒埼町役場企画調整課 電話 七三三〇

気ままな一人暮らし

匿名希望（五十八歳）

この間、仲間同士で旅行の話がでた。すぐ頭に浮かんだのは着る物のこと。いくつになっても二十代の気分はぬけない。暖かくなって薄着になるころ、赤い色に挑戦してみようかなあ、それともピンクにしようか、なんて思ってしまう。まるでボーイハントに行くみたい。なんともはやマンガ的である。こんなバカみたいなことを考えている自分がおかしい。笑ってしまった。まあ、つくづく幸せだなあと、ご先祖様に感謝している。

小雨は降っていたけれど彼岸の中日。母の好きだったおはぎなどを用意して朝早くお墓参りに行く。今朝（けさ）は私が一番

乗りかかと、あたりを見まわしてみたら、もうお参りをすませて帰られたのか、ま新しいお花が供えてあるお墓がかなりあった。朝早いお参りはなんとなく今日一日よいことでもあるようなさわやかな気分がする。

さて、祭日だから仕事も当然休みである。帰ってきて家でんびり爪でも切っていると、なんともしえない自由なひと時を感じる。食べたければ食べ、遊びたければ遊ぶ。自分に相談して自分で返事をしている。何事も決めるのは自分である。そのかわり人より働かなければならぬ。「働かざる者食うべからず」ということわざが大好きだ。働か



短歌

短歌会

古新聞智慧の宝庫の一種とて切りとりかめうす高く積み
柏 直樹地
一年生に入学したる孫を見て七つの頃の我を思ひり
宮田 ミイ

花冷えの一日を風邪に伏せおれば
婆ちゃん死ぬなど孫の寄り来る
金内 セツ
鉄触れて負傷をさせし蛙子を畑に
戻しぬ詫びる思ひに
平松清治郎

雪とけの水の青さは黒土のふと足
もとに片栗の花
泉井 ヨ子
狭庭辺に連翹の黄と沈丁花楓の紅
と競ひ咲きたり
石川恵美子

水仙の花一斉に開き過ぎ友に与え
ることをためらう
乙川 竹
雨の中信号待てば沈丁花いずこ
もなく香りきにけり
阿部 浄子
子を抱き反核行進に加わりて世界
をめぐる母もありたり
小出美善子

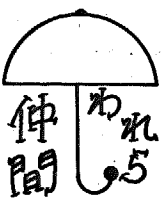
俳句

見送りの門をあければ臘月
土割って一人静の森めきし
旅人に木の芽ほぐしの雨が降る
岩見 正子

山茶花や陽炎ゆれて花むしろ
肥後橋高き梢に風光る
滝沢 ナイ
若竹や春雪払い天仰ぐ
雲上殿見上げて登る花要り
佐藤 キン

詩

雪窓や点滴の子へ母は付つ
春めくや初の年金もらいけり
海津みよき
星に祈りて
佐藤 キン
桜花ピラ屑にして
夜空の星を見上げれば
都会に学ぶ孫達に
学びの道に幸あれと
お祈りしたやお星さま
二人仲よくつれだつて
たわむれ遊んだ幼な孫
思い出してはなつかしい
元気で学べと一声を
送ってやりたい夜風に乘せて



着付けは ちよっとにがて

黒鳥若妻会

「若妻会」その名のとおりに若い奥さんがたの団体で、本町には黒鳥と板井にあります。さて、今号で登場してもらった黒鳥若妻会（田沢美智枝さん会長）は総勢五十九人の大所帯。平均年齢二十七・八歳で、黒鳥の人は全員入会しているとか。三月は若妻会主催で、着付けの講習会を開きました。第四回の講習会が三十日（火）夜、黒鳥公民館で開かれました。参加者は、着付け講師の宗村保子さん他六名。毎年、講習会を開いているのであまり多くありません。



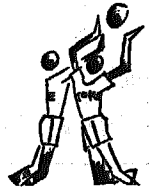
若妻会は、他にもリング作り、ボーリング大会、手芸教室などの活動をしています。町や地域の運動会や民謡流しにも積極的に参加しています。ただ、農家

の主婦のかたが多いので、農繁期は一時お休みだそうです。会長の田沢美智枝さんは、「いろんなことをやっていますよ。これからは、社交ダンスとか軽いスポーツもやりたいですね。」と話しています。なお、着付けを覚えたいかたは宗村保子さんまでご連絡を。（☎七五九五〇）



「声」の意見発表の場がこの「声」です。テーマ、内容は自由です。文章はどうもにがて……というかたは連絡してください。取材に行きます。

情報 計報



わたしと スポーツ

①

参加することに意義があるとは

銃剣道連盟支部長 八内田 正一（寺地）

ときに人は国際試合をはじめとして、すべての競技は一つの祭典であるから勝負よりも参加することに意義があると言います。「参加することに意義がある」とはいったいどういう意味でしょう。ただ、参加するだけで名譽を得ることができれば、

慢然と参加してもよいわけですから、それではあまりにも無責任であると思います。かえって、参加することその大会をやるんじることになってしまいます。参加に意義などなくなってしまう。私の思う参加意義とは、参加するために人一倍陰の努力を積

さて、みなさん、春です。寒い冬の間、家に閉じこもって休ませていた体を、戸外に出て空気をうんと吸いましょう。そして、思う存分に体を動かしましょう。もうそんな年ではないとか、家でテレビを見ていた方がよいとか言っている、年寄りじみて老けてしまえばかりです。春です。老いも若きも身近なスポーツを楽しみましょう。